T-740-07002A

取扱説明書

断　裁　機

SC-30型

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管ください。

株式会社 内田洋行

・ ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・ ここに示した注意事項は。製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人々へ
未然に防止するためのものです。
・ 「安全上の注意」に使用されている絵表示の例

記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

記号は禁止の行為であることを告げるものです。

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

	注意
	刃の下には手をいれないでください。けがの原因となります。
	紙押さえおよび安全装置をはずして使用しないでください。けがの原因となります。
	使用しない時はハンドルを最後まで上げておいてください。けがの原因となります。
	断裁機の持ち運びは、テーブルを持って移動させてください。けがの原因となります。
	ぐらついたり傾いたりしている不安定な場所には、設置しないでください。けがの原因となります。
	お子様の使用は避けてください。またお子様の手の届かない場所に設置してください。けがのもとになります。

はじめに

・本製品をいつまでも最良の状態でご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使い方で末永くご使用くださるようお願い申し上げます。

・この「取扱説明書」は、必要なときにいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて、大切に保管ください。

・この製品は、改良のために仕様変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

目次

1. お使いになる前に

(1)付属品の種類・数量の確認

箱の中に次の品物が揃っているか、お確かめください。
万一、足りないものがある場合は販売店または当社営業担当者まで、
お問合せください。

①本体　　②スライドゲージ　③取扱説明書（本誌）

（２）各部の機能と働き

①レバーハンドル
断裁時に刃を上下させます。

②スライドゲージ
用紙の断裁幅を決める時に
使用します。

③ゲージ止めボルト
スライドゲージを固定します。

④サイドゲージ
用紙を揃います。

⑤テーブル
本体部分

⑥安全ロックレバー
ロックされますとレバーハンドル
が固定され、刃は下りません。

⑦プレスハンドル
用紙を固定する時、プレス
プレートを上下させます。

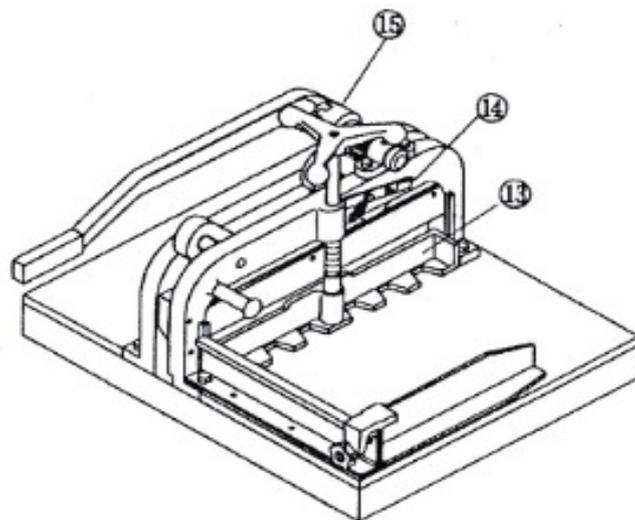
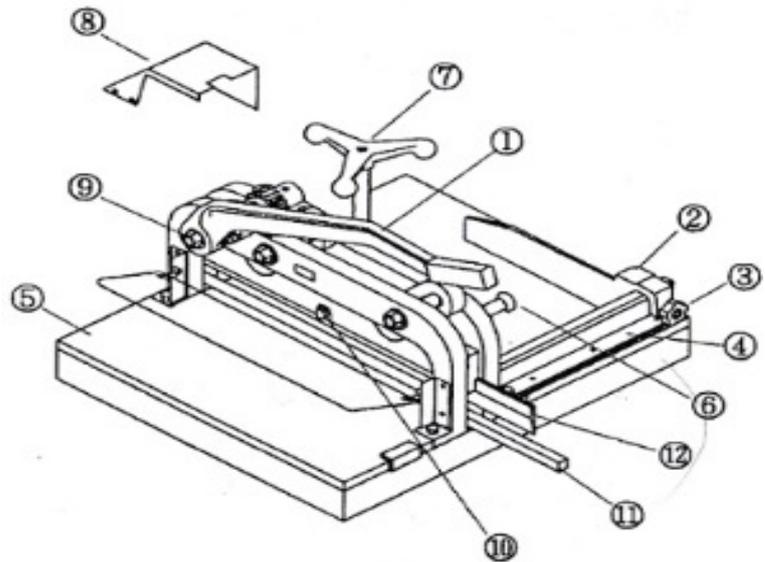
⑧ギアーカバー
クラッチ、ギア部をカバー
します。

⑨ハンドル止めナット
ハンドルを固定します。

⑩刃止めボルト
刃を固定します。

⑪刃受け板
用紙を断裁した後の刃先
の保護

⑫刃
用紙を断裁します。

⑬プレスプレート
用紙を固定し、ずれを防止
します。

⑭プレスプレートロック装置
ロックされますと、プレスプレートが固定され用紙を
取り出すことができません。

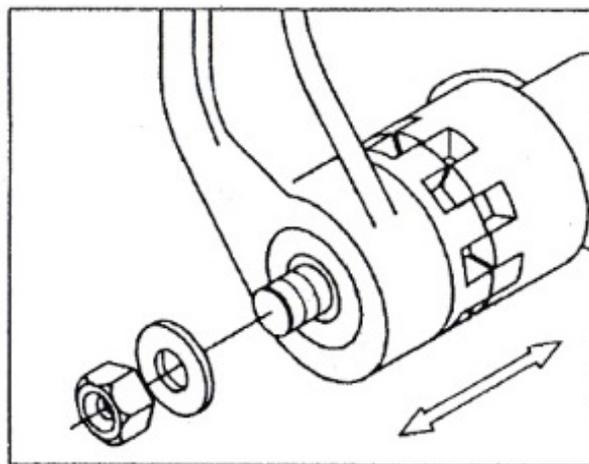
⑮クラッチ
レバーハンドルの位置を切り替えることで、厚い用紙も
切ることができます。

2．ご使用方法

(1)準備

①ハンドル止めナットをはずし、レバーハンドルを本体のレバー軸に取付けます。再度、ハンドル止めナットを固定します。この時、レバーハンドルはクラッチが外れるように前後にスライドできるようになっております。

②本体をぐらつきのない平らなデスク等に設置します。

③スライドゲージをサイドゲージに取付けます。

注 意

ぐらついたり傾いたりしている不安定な場所には、設置しないでください。けがの原因となります。

（2）安全装置の確認

レバーハンドルがロックされているか確認をします。ロックされていない場合は、レバーハンドルを安全ロックレバーが作動するまで引き上げます。レバーハンドルはクラッチの位置を調節し、作業しやすい位置で使用します。

注 意

断裁機を使用しない場合は必ずハンドルをロックしておいてください。けがの原因となります。

（3）断裁の寸法位置決め

用紙の断裁寸法を決めますプレスハンドルを回しプレスプレートを上げてください。スライドゲージをサイドゲージ上の目盛に合わせて調節し、ゲージ止めボルトで固定します。断裁すべき用紙はスライドゲージとサイドゲージに正しく当て、揃えてください。

（4）用紙の固定

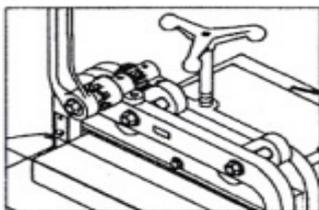
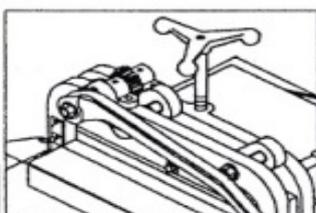
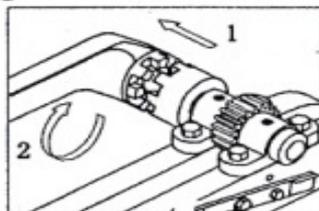
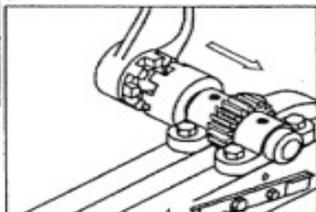
用紙が揃いましたら、プレスハンドルを回しプレスプレートを下げ、用紙をしっかり固定します。固定されてない場合は用紙がずれてしまいますので、忘れずに固定してください。

（プレスハンドルのロックについて）

SC-30型断裁機には、安全たいさくとしてプレスプレートロック装置が装備されております。プレスプレートロック装置は安全ロックレバーが作動しているとき以外には、プレスハンドルが使用できない構造です。

用紙の取外し等でプレスハンドルを使用する場合は、必ずロックレバーを作動させてから（レバーハンドルを上にあげ、刃がしたに下りないようロックされた位置）ご使用ください。

（5）断裁する
まず、右手で安全ロックレバーを引き、ロックを開放しながら左手でレバーハンドルを静かに下げます。この時に安全ロックレバーが軽く作動しない場合は、レバーハンドルを少し上にあげておいてから、安全ロックレバーを倒してください。
ロックがはずれたら、右手もレバーハンドルに添え両手でハンドルを下げます。
用紙に刃が当たりましたら強くハンドルを押し下げてください。用紙を断裁します。

クラッチを切り替えての断裁方法

①用紙をセットします。
②レバーハンドルが真上（90°程度）になるように、クラッチを切り替えます。
③断裁を始めレバーハンドルをテーブルと水平になるところまで下します。
④この状態ですと、刃は途中までしか下りませんので、クラッチを外し再度、レバーハンドルを真上になるように切り替えます。
⑤再度、レバーハンドルを下した刃が刃受けにあたりましたら断裁の終了です。

断裁時のレバーハンドルの動き　A⇒B⇒C⇒D⇒A⇒B

注意

刃の下には手をいれないでください。けがの原因となります。

（6）断裁の完了
断裁が完了したら、必ずレバーハンドルを一番上まで引き上げ（クラッチを切り替え）安全ロックレバーを作動させてください。
レバーハンドルのクラッチを切り替えない場合は、レバーハンドルが反対側に倒れてしまいます。

（切れ残りが出た場合）
本器で用紙を断裁した場合、一番下に用紙が切れ残ることがあります。
これは刃物保護のために軟らかいポリエチレン製の刃受板を使用しているためです。
この様な状況は刃物及び刃受板の新しいうちは起こりませんが、しばらくご使用し刃受板に刃物の跡が着き始めると、出始めることがあります。また、刃の跡が着きますと1，2枚の用紙を断裁した場合にも切れ残ることがあります。この様な場合はお手数ですが一番下にダミーの用紙を敷いてご使用ください。
刃受板にできた刃物の溝が大きくなりましたら刃受板を交換してください。
それでも切れ残りが出る場合は、有償となりますが刃物を研磨することをお薦め致します。
（刃受板の溝は、刃の切れ味がわるくなると、力を入れて断裁するため、ますます大きくなってしまいます。刃がキレル場合は軽い力で十分切れます）
本機は、複数枚以上の用紙を断裁することを目的に作られております。このため、専用の刃物を使用しており、その刃先の保護には環境を考慮し、軟らかいポリエチレン製の保護板を使用しております。

３．日常のお手入れ

(1)刃受板の交換

刃受板に刃先のくい込みが深くなりますと、刃の切れ味が悪くなります。
このような場合は刃受板を回転させ、刃の受け面を他の面に換えてください。
刃受板は4面使用可能です。刃受板はテーブルの側面から引き抜いて
交換できます。

(2)替刃の交換

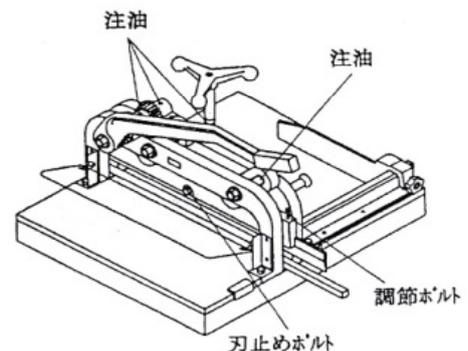
刃の切れ味が悪くなった時は、製品を購入した販売店または当社まで
申し付けください。研磨をさせていただきます。
（有償にて賜ります。摩耗状態によっては研磨できないこともあります）

(3)注油

本体のスライド部には、定期的に（2～3ケ月）注油をしてください。
油が切れますとレバーハンドルが重くなったり、本体フレーム
やメインフレーム部の摩耗が進行する原因となります。

(4)刃の平行調整

刃先が刃に対して平行でないと端部の切れ残りを生じます。
この場合は以下の手順で調整してください。

①安全ロックレバーを作動させます・
②プレスプレートを一番下まで下げます。
③プレスハンドルをはずします
④刃先を刃受板まで下げます。
⑤刃止めボルトを半回転緩めます。
⑥左右の調節ボルトを静かに回します。
刃先が刃受板に平行になるよう調節します。
⑦刃止めボルトを締め、プレスハンドルを取り付けます。

4.消耗品

刃物、刃受板は消耗品です。
お求めは、ご購入いただいた販売店か、当社営業までお問合せください。

５．仕様

ＳＣ－３０型	
細断幅	430㎜
細断奥行	330㎜
台サイズ	500W×605Ｄ
断裁枚数	620枚
質量	50.0㎏
断裁枚数はPPC用紙64ｇ/㎡	

※目盛ゲージは断裁の目安です。目盛線自体の太さもありますので、
正確な断裁をする場合は試し切りをしてから調整してください。

※本機仕様は機能向上のため、予告なく変更することがあります。

株式会社 内田洋行